

No. 334

H27年4月1日

— 発行 —

〒869-1217

熊本県菊池郡

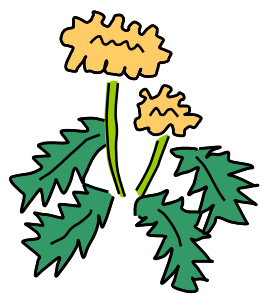
大津町森 54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



イコールフットイング

施設長 松田 健

社会福祉法人に対する風当たりが強くなっています。

内部留保が億単位であると

言われています。つまり法人が毎年多くのお金を貯めこんでいると批判の対象となつていきます。法人として経営

基盤を強化するようにも言われているので矛盾するよう

に思われます。しかし、社会福祉法人なのに公益事業をしない。地域のための社会

貢献をしていないことが間違っているというところらしいのです。そもそも社会福祉事業は慈善事業に端を発して

時も勢力的に援助・支援活動に動いたのはむしろNPO

法人でした。社会福祉法人としての使命を果たすべきであると思

います。三気の里は28年目の施設であり、利用者の高齢化と施設

の老朽化が顕著となっており、改善するための委員会も発

足したところです。そして、改築、新築工事のために資金を準備する必要があり、

コツコツと貯めてきました。すべてその費用にあてることになり

ます。創始者が個人的に捻出したことにより三気の会は始まり

ました。その他を事業団より借り入れました。理事が保証人となり

ようや、もう一昨年返済完了しました。もうだれも保証人には

なりたいし、個人が捻出することは不可能です。ほぼ自力

で改築・新築するために資金を蓄えていると明言できません。

もうひとつ今、盛んに言われている言葉が「イコールフ

ットイング」です。社会福祉法人と同じ事業をする他の形態の組織(株式会社、NPO等)と同じ土俵で勝負をすべきだとい

う意味で使われています。(社会福祉法人だけ税金の免除のある部分があるのはおかしい。公平にすべきだという意見等)

このことは、先の話とつながっていきます。社会福祉法人は、「制度がなくても事業をする」という一貫した精神があります。故に、さまざま

な恩恵に授かっています。株式会社とはそこが違います。イ

コールフットイングであつてはいけないのです。しかし、社会福祉事業が地域貢献

をしなくなったらどうでしょう。株式会社と同じく利潤の追求のみを目指すとしたらどうでしょうか。まさしく、イコールフットイングは

当たり前であるということになります。

社会福祉法人の精神と奉仕の精神についての先人の

考えを若い職員にも伝えていく義務があります。(指導

的立場にある方は先人の本を多く読んでほしいです。若

い方は、まず本を自費で購入してほしいです。)株式会社

